

昨年11月、伊予市総合防災訓練に参加して参りました。シェイクアウト訓練や避難者名簿作成訓練等の基本的なことから、車中泊体験や濃煙体験等、防災に関する様々な訓練・体験をし、防災についての意識をより深める一日となりました。先日も能登半島地震があったばかりです。平時のうちに身の回りの防災について見直してみませんか？

神社の幟旗

(文責) 日山 貞治



厳島・春日の幟旗

令和五年十月十五日(日)に地方祭があり、伊予市内の各所で秋祭りが実施されました。三秋地区でも、水之明神社の秋祭りがあり、集落の辻などに幟旗が立てられました。

- ② 神社入口
正一位水之大明神社
昭和六十一年一月吉祥日
三秋氏子中
- ③ 参道
奉厳嶋神社
昭和五十四年十月吉日
氏子中
- ④ 原中
正一位水之神社
昭和六十一年一月吉日
三秋氏子中
- ⑤ 岡田組・北組の辻
奉正一位水之神社
平成二十八年十月吉日
組中安全
- ⑥ 端
奉正一位水野神社
平成十年十月吉日
組中
- 奉正一位稻荷神社
平成十年十月吉日
組中

① 下三秋
奉獻正一位稻荷神社



神社入口の幟旗

参道と端の幟は、左右で神社名が異なっています。また、神社入口と原中の幟は、三津の荒瀬染となっています。

西願寺の三界万霊塔

(文責) 日山 貞治



三界万霊塔

西願寺の山門手前、右側の六地藏の中央に、三界万霊塔があります。

三界とは、欲界(欲望にとらわれた生物が住む境域)・色界(物質的条件にとらわれた生物が住む境域)・無色界(精神的条件のみを有する生物が住む境域)です。万霊とは、この世の中の全ての生き物のことを指しています。過去・現在・未来を通じて、生きとし生けるものの全ての霊を宿らせています。

この塔は、造立すること供養の目的でなく、回向することによって万霊を供養することを目的としています。そのため、日常的に多くの人が回向を受けられるように、ここに安置されたと思われます。

花崗岩製の丸彫りの地藏菩薩像で、左手に宝珠右手の手首の先は欠損しています。が、おそらく錫杖を持っていたと思います。幅五十七cmの基壇上部に返花座(角と辺の中央に単弁がある・八枚)があります。その上に正方形の台石があり、次のように刻まれています。

表面 文政六(一八二三)癸未年夷則(七月の異称)吉且ノ三界萬霊ノ發願主 活秀和尚

出産おめでとう

(文責) 稲多 早苗



凌永君とお母さん・啓永君とお祖母ちゃん

「愛ある伊予灘線」を走るラッピング車両のすまいるえきちゃん号とおさんぼなんよ号は、車両型式がキハ54形ですが、鬼列車はキハ32形です。少し小型の車両です。この3台の車両コラボが2両編成以上の時に時々見ることができます。組み合わせは一定していませんが、走行しているカラフルな車両風景を楽しむことができます。ラッキーと思う瞬間です。



ラッピング車両ボ

(文責) 日山 貞治

「淡紫色の菊の花」

(文責) 日山 貞治



嫁菜(ヨメナ)

田畑の畦や休耕田に生育していたヨメナです。長い地下

岡田組の谷本裕斗・美咲さん夫婦に、凌永(りょうと)君(2023年10月20日生、次男)が産まりました。長男の啓永(けいと)君(2021年6月12日生)も嬉しそうです。お名前は、「凌駕する」に由来し、兄を超える・他者を圧倒するような人に育ってほしいという願いを込めてつけました。永(と)は、祖母・父母みんなで父の「と」をもらうことに決めました。子育てで大切にしたいことは、「やりたいことを、やらせてあげられる環境を作ること」です。三秋の好きなところは、「自然の中で大きな声を出しても安心なところで、子どもがのびのび育てられる、夜は静かに眠れるところ」です。これからの三秋に望むことは、「子育てしやすい、子どもが遊ぶところがある三秋」です。今住んでいる方・これから住まれる方に喜ばれる三秋、作っていきたいですね。これからも谷本さん親子を宜しくお願い致します。



ラッピング車両3両編成

ラッピング車両2両編成

右面 本郡村六兵衛・茂左衛門・儀助
三嶋田丁(町・偏と秀を別々に刻む)
久蔵・弥八・清治・七三良
富村恵明・太良右門・長村・太三良・平十良・藤蔵・喜平・藤右門・惣八
尾寄村伊藤久右工門・久蔵・甚助・庄内
中村儀七
市場村儀八・嘉平・与左工門・市兵永・和平治・弥若門
萬人講ノ十方施主且中ノ若連中

新池(三秋)

(文責) 日山 貞治



橋脚

新池(三秋)は、三秋城ケ端甲63の3に位置し、堤体の高さは10・3m、堤頂長は40m、貯水量は7600

茎で繁殖するので、所々群生しています。和名の嫁菜(ヨメナ)は、婿菜(ムコナ・白い菊の花を咲かすシロヤマギク)に対して付けられたものです。若芽は、食用として香りがよく美味です。

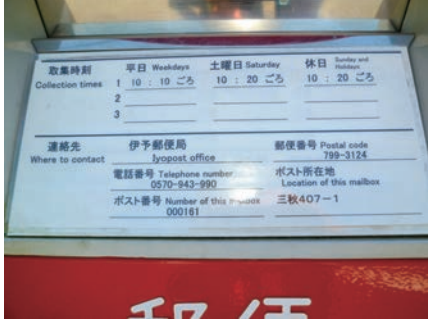
よく似た花に、野紺菊(ノコンギク)があり、こちらは葉や茎がざらつき、そう果に冠毛があります。



ヨメナの群生

三秋の郵便ポスト(郵便差出箱)

(文責) 日山 貞治



三秋で唯一の消防詰所前に設置されている郵便ポスト

ます。新池の特徴としては、堤体上が生活道路になっていること。貯水量に対し、堤体の高さが10mを超えています。(伊予市の溜池162ヶ所のうち9番目に高い。三秋大池は14m・大谷池は37m・水面下に松山自動車道の城ケ端第1橋の橋脚が2本ありま

伊予市産業建設部・農林水産課が平成30年3月に作成した、ため池ハザードマップ(10万トン未満の重点ため池)には、大規模地震により、ため池が決壊した場合を想定した浸水地域が図示されているので、自宅でマップを保管認



法面外

ヤングケアラーについて学ぶ

(文責) 原田 浩明

皆さん、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことはありますか？

去る10月13日、令和5年度人権・同和教育地区別懇談会が三秋集会所で行われました。「ヤングケアラー」と子ども権利をテーマに、啓発ビデオ「タ焼け」を視聴し、講師の先生によるビデオの解説及びヤングケアラーについて



湊町の丸型ポスト

三秋消防団詰所前には、三秋唯一の郵便ポストが設置されています。郵便ポストの型は一番新しい14型の改良型で、差入口がほんの少し拡大した14W型と呼ばれるものです。平成24年(2014)から登場しました。

現在設置されているポストは、平成29年3月に山崎産業株式会社が納入した比較的新しいものです。

大きさは、本体の高さ50cm・幅35cm・奥行き40cmです。脚柱の高さが50cm・直径11cmです。ポストの番号は000161で、所在地は三秋407の1になっています。取集時刻は、毎日一回で平日が10時10分頃、土・休日が10時20分頃です。

市内伊予地区には、昭和24年から使用されているレトロな丸型1号が2基(灘町山文商店跡前と湊町旧松岡商店前)残っており、今でも現役で活躍しています。

3年ぶりの亥の子さんの

(文責) 原田 浩明

亥の子唄が戻ってきました。コロナ禍で中止となっていた「亥の子」が、3年ぶりに再開。11月4日に折戸組で、行われまして。それぞれ使用する道具が異なり、折戸は、わらを棒状にしたものを手に各戸を回る『わら棒方式』。下三秋は、亥の子石をみ



啓発ビデオ「タ焼け」を視聴

理解を深める講話を聞き、参加者の皆さんで意見交換を行いました。啓発ビデオについての感想から、不登校生に対する学校の対応についての質問に至るまで、自由闊達な意見交換がなされました。

最近の国の調査では、30〜40人の学級で1〜2人のヤングケアラーがいる可能性があると言われています。ヤングケアラーの多くは、誰かに相談する機会が少ないために、周囲から見過ごされやすいのが現状のようです。「そんな子どもは周りにはいない」という「思い込み」が子どもに権利を奪っています。これを機に、「ヤングケアラー」と子ども権利について考えてみては如何でしょうか。

※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていること(このこと。こども家庭庁HPより)



んなで引つ張り合う『亥の子石方式』で、亥の子唄のリズムに合わせて地面を叩きます。

少子化や農家の減少等により、「亥の子」が現在も行われている地域が伊予市内でも減っており、両方のやり方が残る三秋は、大変貴重だと言えるでしょう。



折戸の亥の子(わら棒)



下三秋の亥の子(亥の子石)